

色の博物誌

江戸の色材を視る・読む

国絵図



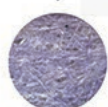
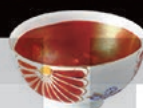
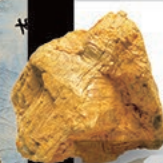
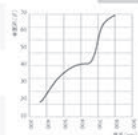
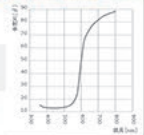
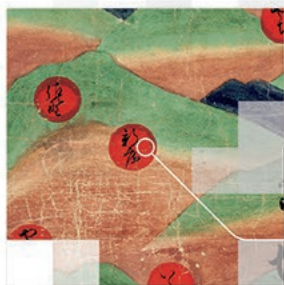
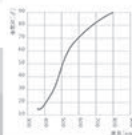
浮世絵

2016.10.22.sat - 12.18.sun

目黒区美術館 Meguro Museum of Art, Tokyo
<http://www.mmat.jp>

開館時間: 10:00 - 18:00 [入館は17:30まで] 月曜休館
観覧料: 一般800[600]円、大高生600[500]円、小中生無料
[]内は20名以上の団体料金、障がいのある方は半額、その付添者1名無料

The Anatomy of Colors
Look closely and read the stories of colors of Edo in Kuniezu & Ukiyo



目黒区美術館は、1992年から2004年にかけて、青、赤、白と黒、緑、黄色をテーマにした「色の博物誌」シリーズを開催し、各色において、考古・民俗・歴史・美術を横断しながらそれぞれの色材文化史を紡ぎ、その後もワークショップ「古典技法への旅」やセミナーを通じて、原材料に着目した色材と人の関係を考えてきました。

美術館ではあまり取り上げられないテーマですが、色の原材料とその特質を知ることによって、見えてくることはたくさんあり、作品も今までとは異なる方向から楽しむことができます。

このたび、これまでの研究と色に関する出会いをもとに、6回目となる「色の博物誌」を開催します。設定したテーマは、江戸時代の豊饒な色材です。展示では、緑青や朱など、粒子が際立つ不透明感のある無機系の色材と、藍、紅、藤黄、青花などの、透明感のある有機系の色材に着目し、人の知恵と工夫から丁寧に作られてきた色料や絵の具による《国絵図》と《浮世絵》で構成します。

幕府の命により各藩が総力を挙げて制作した巨大で極彩色の《国絵図》と呼ばれるグラフィックな絵地図。本展では岡山大学附属図書館の池田文庫より、400年～300年も前に作られた備前、備中の色彩豊かな絵地図をご覧ください。そして、手の中で愛玩され、民衆文化の中で木版によって普及した可憐な色彩の《浮世絵》。今では色が退色している作品も多くありますが、かつては植物系の美しい色の組み合わせで人々の目を楽しませていたものです。この両極にある二つの世界から見えてくる素材としての色の質と表情を取り上げ展示構成しました。

オリジナル作品に加え、近年の国絵図研究の中で制作された原寸大の復元作品と、浮世絵の紙や色材への探求をとおして復刻を続けた立原位貫(1951-2015)の作品、さらに色材分析、江戸の画法書、色材の製造工程にも触れ、さまざまな角度から色を「見て」、「読む」楽しさを紹介していきます。

目を凝らしてじっくりと見てごらん、色の表情が豊かに立ち上がる



国絵図：4点、復元作品1点、
浮世絵：約40点、復刻作品(立原位貫)約40点、
色材：約15種、画材、画法書など

■ 浮世絵は、会期中頃に大幅な展示替えを行います。
■ 会期中、ワークショップやセミナー、
ミュージアムコンサートを行います。
詳しくは、ホームページをご覧ください、
お問い合わせください。

主催：公益財団法人目黒区芸術文化振興財団 目黒区美術館、
読売新聞社、美術館連絡協議会
特別協力：岡山大学附属図書館、山口県立萩美術館・浦上記念館
協賛：ライオン、大日本印刷、損保ジャパン日本興亜、
日本テレビ放送網、サッポロホールディングス株式会社

1. 備前国図 | 慶長年間 | 着彩/紙 | 329.0×280.7cm | 岡山大学附属図書館蔵 池田文庫
2. 備前国絵図 | 元禄13年12月 | 着彩/紙 | 316.0×357.0cm | 岡山大学附属図書館蔵 池田文庫
3. 復元 | 元禄備前国絵図 | 平成22年 | 着彩/紙 | 316.0×345.6cm | 岡山大学附属図書館蔵
制作：東京藝術大学大学院 保存修復日本画研究室
4. 島居清長 | 三代目市川八百蔵の古手屋八郎兵衛、中村里好の丹波屋のおつま、浄瑠璃富本斎宮太夫、三枝名見崎徳治 | 天明5年 | 大判錦絵 | 千葉市美術館蔵
5. 喜多川歌麿 | 山姥と金太郎 煙草のけむり | 享和1-3年 | 大判錦絵 | 山口県立萩美術館・浦上記念館蔵
6. 復刻 | 立原位貫 | 山姥と金太郎 煙草のけむり(喜多川歌麿) | 平成27年(昭和57年の再制作) | 大判錦絵 | 個人蔵
7. 復元 | 元禄備前国絵図 | の制作風景
8. 復刻 | 山姥と金太郎 煙草のけむり | の制作風景(立原位貫)
photo: 田中英二

表、測定ポイントの色材：
右中から時計回りに、石黄、
紅+ウコン、紅+青花、藍、朱、
藤黄+胡粉

目黒区美術館
Meguro Museum of Art, Tokyo

〒153-0063 東京都目黒区目黒2-4-36 | Tel.03-3714-1201 | http://www.mmat.jp
2-4-36 Meguro, Meguro-ku, Tokyo JAPAN 153-0063
メルマガ会員登録中 https://service.sugumail.com/mmat/

